

# 秋の全国交通安全運動

## 9月21日～30日

～やさしさ  
が走るこの街  
この道路～



- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 飲酒運転の根絶
- 二輪車の交通事故防止

### 警察署からのお知らせ

#### 運転免許証の返納について

高齢ドライバーの事故が急増しています。運転に自信がない、家族から「運転が心配」と言われたら、運転免許証の自主返納をお考え下さい。免許試験場、警察署、免許更新センターで自主返納できます。詳細は、町田警察署、南大沢警察署へ。

町田市、警察署、交通安全協会、地域交通安全活動推進委員会などが協力し、「交通事故のない、明るく安全で住みよい街」を目指します。

### 運動の基本

○高齢者の交通事故防止  
青信号でも、左右を確認し、点滅したら次の信号を待ちましょう。また、遠回りでも横断歩道を渡りましょう。

### 運動の重点

- 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- (反射材用品等の着用推進)

## 住民基本台帳に記録の無い、戸籍上で100歳以上の方の記録を削除します

町田市では、住民基本台帳に記録が無いにもかかわらず、戸籍上では「生存」したままの状態になっている100歳以上の方について、調査を行いました。その結果、13人の方について、法務局に記録の削除に関する申請をいたしました。法務局から許可がおりるのを待って記録の削除を行う

自治体は、100歳以上の方で、所在が長期間不明で死亡している可能性が高いと判断した場合、法務局の許可を得て戸籍の記録を削除する措置を取ることができます。

## 町田市民交通安全フェスティバルを開催します

秋の全国交通安全運動期間中に、町田市・町田警察署・町田ドライビングスクールの共催で、交通安全イベント「町田市民交通安全フェスティバル」を開催します。

プロのスタントマンによる交通事故の再現や警視庁シンボルマスコットのピーポ君との記念撮影など盛りだくさんな内容です。

秋の全国交通安全運動期間中に、町田市・町田警察署・町田ドライビングスクールの共催で、交通安全イベント「町田市民交通安全フェスティバル」を開催します。

### 午前部

○オープニングセレモニー  
(私たちは幼稚園マーチングバンドによる鼓笛演奏)

○交通安全体験ブース(3人)

○白バイによる走行実演

○雨天時は、内容を変更して午前のみの開催となります。

○駐車場はありません。車の来場はご遠慮下さい。



交通事故再現のイメージ

## パブリックコメント 予告

市では条例・計画などの策定を進めるにあたり、市民の皆さんにご意見を伺います

10月1日から下表のパブリックコメント（意見公募）の実施を予定しています。

案件名	町田市住宅マスタープラン改定(案)
募集期間	10月1日(金)～29日(金)
案の公表方法	・本紙10月1日号に概要を掲載 <10月1日以降> ・町田市ホームページに詳細を掲載 ・市役所、各市民センター、各市立図書館等で資料の閲覧、配布
意見等の提出方法	・郵便 ・ファクシミリ ・Eメール ・住宅課ほか、指定の窓口への提出
担当課	住宅課 ☎709・0579

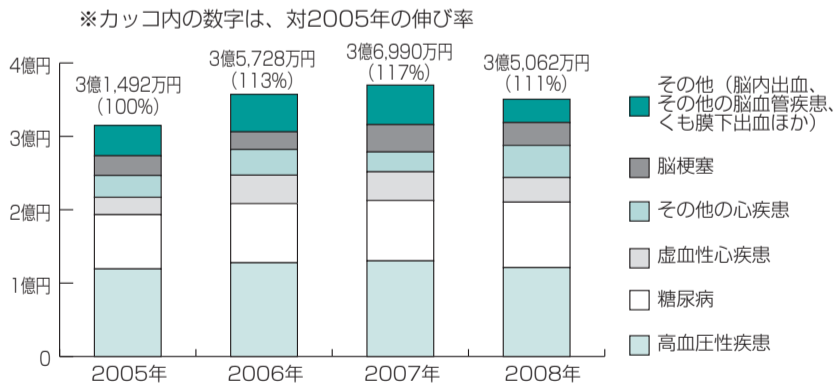
表1 生活習慣病の診療件数(レセプト件数)の推移(毎年5月の件数を比較)

	2005年	2006年	2007年	2008年
件数	14,844件	16,484件	17,553件	17,400件
伸び率(対2005年)	100%	111%	118%	117%

表2 被保険者1人当たりの医療費(自己負担以外の金額)の推移

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
医療費	175,837円	187,289円	195,328円	212,016円	216,533円	219,389円
伸び率(対2004年度)	100%	107%	111%	121%	123%	125%

図1 生活習慣病による医療費の推移(毎年5月の金額を比較)



## ご存じですか?ジェネリック医薬品

医師の処方する薬には、新薬である先発医薬品のほか、一部の医薬品には、ジェネリック医薬品があります。ジェネリック医薬品は、後発医薬品のため、開発や研究にかかる時間・コストが少なく、安価で経済的です。

また、薬の有効性や安全性はすでに認められていて、薬の主な成分は変わりません。

希望する場合は、医師や薬剤師に申し出るか、「ジェネリック医薬品希望カード」を提示して下さい。

カードは、保険年金課(市役所本庁舎4階)、各市民センターで希望者に配布しています。

問 保険年金課保険給付係 ☎724・2130



## 生活習慣病で医療費が増加 ストレス!メタボ

☆町田市で生活習慣病の診療件数が4年間で17%増えたことが、国保連合会の資料で明らかになりました。

国保連合会の資料(2005年から2008年までの5月診療分)によると町田市の生活習慣病の診療件数(レセプト件数)は、年々増えており、2005年に対し4年間で17%増加しています(表1)。また医療費も同様に増加しており、11%の伸びとなっています。

疾患別の内訳は、高血圧性疾患が最も多く、次いで糖尿病、虚血性心疾患(狭心症・心筋こうそく)の順となっています(図1)。

☆医療費は、どのくらいかかっているの?

町田市の国保医療費(自己負担以外の金額)は、2004年度以降、毎年平均で5.72%上昇しており、総額では、2004年度は19.8億6500万円でしたが、2009年度は26.1億7000万円となっています。

また、被保険者1人当たりの医療費については、2004年度が約17万6千円であったのに対し、2009年度は、約21万9千円と、6年間で25%上昇しています(表2)。

総医療費を押し上げる要因に深く関わっていることがわかります。

☆メタボを防止するために…

食べ過ぎや運動不足等の不健康な生活習慣が、やがてメタボリックシンドロームを引き起こし、糖尿病、高血圧症などの生活習慣病の発症の大きな原因となります。このため、働き盛りの世代からメタボの予防対策に努めることが大切です。その結果、健康が保持され、医療費の増加を抑えることができます。

この予防対策のひとつとして「成人健康診査」があります。市では、予防対策の柱として成人健康診査に取り組んでいます。40歳以上74歳以下の国民健康保険加入者には、年4回誕生日に合わせて受診券をお送りしています。

ぜひ受診して、病気の予防をすすめ、快適な健康ライフを送りましょう。

問 保険年金課事業管理係 ☎724・4027

休日や夜間に軽症の患者さんの救急医療への受診、いわゆる「コンビニ受診」が増えています。その結果、命に関わるような重症患者に対して、対応が遅れてしまうことが心配されています。

必要な人が安心して医療が受けられるように、次のことに気をつけましょう。

○休日や夜間に救急医療機関を受診しようとする際には、平日の時間内に受診することができないか、もう一度考えてみましょう。

○かかりつけの医師を持ち、気になることがあったら、まずは相談しましょう。

○同じ病気で複数の医療機関の受診は控えましょう。重複する検査や投薬で、かえって身体に悪影響を与えてしまう心配があります。

問 保険年金課保険給付係 ☎724・2130

## 医療機関の適正受診のお願い